

犬山名所案内

― 初三郎と観光 ―

吉田初三郎 来犬
100周年 記念企画展

令和 5 年

4月28日(金)

▶ 6月5日(月)

※会期中休館日なし

犬山之春 (犬山城白帝文庫蔵)

維鹿尾山図 (寂光院蔵)



城とまちミュージアム
facebook



犬山城白帝文庫 HP

開催場所：城とまちミュージアム

犬山市大字犬山字北古券8番地

開館時間：9：00～17：00（最終入館 16：30）

料 金：一般 300 円（中学生以下無料）、団体 240 円（30 名以上）
※IMASEN犬山からくりミュージアム 玉屋庄兵衛工房共通

問 合 せ：0568-62-4802（犬山市文化史料館）

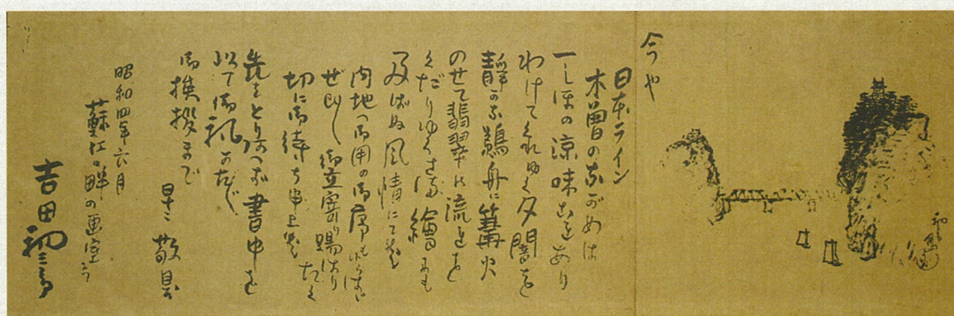
主 催：犬山市文化史料館 公益財団法人 犬山城白帝文庫

吉田初三郎は、大正～昭和時代に活躍した商業画家です。初三郎が描く大胆なデフォルメと鮮やかな色彩の鳥瞰図は全国の観光案内図に取り入れられ、人気を博しました。大正12年、関東大震災によって東京の自宅と画室を失った初三郎は、震災の数日前に名古屋鉄道の依頼で犬山を訪れていた縁で、名鉄所有の「蘇江倶楽部」を仮画室として借り受けます。しかし、美しい日本ラインの風景や栗栖近郊に残る桃太郎に関連する地名に惹かれた初三郎は、不老の滝のほとりに新たに「蘇江画室」を構え、13年もの間、犬山を拠点に多くの作品を制作しました。この10年余りは全国的な観光ブームを背景に犬山の観光地化が劇的に推進された時期でもあり、初三郎自身も観光地犬山を盛り上げるため、自ら広告塔となってさまざまな方法で犬山と日本ラインの名を全国に広めました。

この度、吉田初三郎来犬100周年を記念し、初三郎の原画に加えて、当時の写真や資料から犬山の名所と初三郎の活動を紹介します。幅3メートルを超える大きさで、初三郎の作品の中でも指折りの傑作と言われる「継鹿尾山図」（継鹿尾山寂光院蔵）のほか、吉田初三郎が犬山の春秋を描いた屏風（犬山城白帝文庫蔵）を初公開します。



彩雲閣御膳（個人蔵）



吉田初三郎の挨拶状（個人蔵）



旅と名所二十二号（個人蔵）



大正広重物語（個人蔵）



日本ラインの色紙（個人蔵）



桃太郎図（個人蔵）



日本ライン名所図絵（史料館蔵）



*名鉄犬山駅下車徒歩 15 分
 *駐車場 城とまちミュージアム北側 8 台
 またはキャスルパーキング（有料）
 をご利用ください。

展示解説 5 月 27 日（土）、28 日（日）

11:00～ / 14:00～ *各回とも 20 分程度を予定しています。